



本校の授業改善に向けた視点 *「主体的・対話的で、深い学び」につながる授業の探究

各教科・領域における言語活動の充実	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
○学習活動・学習過程・学習形態等の工夫 ○指導体制の工夫 ・区学力向上支援講師や加配教員による習熟度別算数少人数授業 ○交換授業の実施 ○年間指導計画等の改善 ○学習スタンダード等の効果的な活用 ○板書計画、ノート指導の充実 等	○ゆとりある授業時数の確保 ○漢字・計算・読書等の基礎的・基本的な学習のための朝学習の時間の確保 ○夏季休業中の学力補充教室の実施 ○地域未来塾の検討開始	○研究主題「思考力・判断力・表現力を伸ばす子どもの育成」のもと、国語科や算数科を中心にした、教師の指導力や授業力等の向上 ○教員の能力・特性を生かした指導力向上のための研修会の実施 ○学習指導要領改訂及び特別支援教育の研修会の開催 等	○評価規準・評価計画のもと、PDCA〔実践・評価・行動・修正〕のサイクルによる改善を図る。 ○形成的評価を随時行うことにより、指導と評価の一体化をめざす。 ○評価補助簿等を活用し、個別指導の充実を図る。 等	○「総合」等、各教科領域の学習における地域人材の積極的活用。 ○学校評議員による評価を生かした開かれた学校づくりの推進 ○基本的な生活習慣や学習習慣を育む家庭の教育力の向上 ○様々な広報活動による学校の教育情報の積極的な発信 ○校舎改築・開校60周年記念行事を踏まえ、地域社会との積極的な交流を図ることによる「社会に開かれた教育課程」の具現化 等	○関中学校との定期的な連絡会や分科会を開催し、小中一貫教育につながる情報を共有化する。 ○これまで実施してきた活動を生かして、一層の連携を図る。 ○児童生徒間だけでなく、教員間の交流を校区別協議会等で推進する。 ○先進校の研究に学び、新企画を立案する。 等

授業改善策の検証方法

- 各種の意識調査や学力調査の結果を入念に分析し、前年度との経年比較を行いながら、指導方法の成果と課題を明らかにし、児童の学びを豊かにしていく。
- 各教科の基礎的・基本的な内容の習得状況については、各種の学力調査の結果と授業改善策との関連を踏まえて分析し、前年度からの変容を確認していく。
- 校内研究の一環として、児童の学習意欲に関する意識調査を行ったり、オリパラ関連の体育科の新しいスポーツを導入したりして、学習意欲の高揚を図っていく。
- 保護者等による毎学期の「学校の教育活動に対するアンケート」等をもとに外部評価の状況を分析し、そのニーズに積極的に応えていく。 等々